京城日報
朝刊
朝夕刊共八頁

社説　農村人と文化

一

大東亞共榮圈の確立といふことが着々實現の途に就きつつある秋、農村に負荷される使命は一層重くなつて來た。卽ち、さらでだに『精農の家に農閑期なし』とまでいはれてゐた農家にとつては、あらゆる惡條件を克服して、增產に拍車をかけなければならなくなつて來たのであるから、從來のやうな形の農村問題でなく、建設に向つての對策と農村人自らの中に湧く勤勞の精神とが打つて一丸となるところに、少くとも今日以後の農村の姿が期待されるのであつて、要約すれば、增產しつつ農村自體の生活文化を向上せしむることが急務なのである。

二

然し、率直にいつて、農村人の大部分は寢る暇もない程の繁忙に追はれ、生活文化などといふことを考へる時間さへ持ち合はせてゐない實情にあるとも考へられる。試みに彼等に讀書や娛樂による情操涵養のことを持出したとしても恐らくは彼等はそんな暇があるかと反問するに違ひない。また、そんな餘暇を作り得たとしても、果して讀書や娛樂に趨るか否か。むしろつまらぬ遊びに時間を費すだらうといふことも考へられる。これは必ずしも農村人に對する侮蔑ではなく、それ程も彼等には、餘裕のない生活が續いてゐるのだといふことの一證左に過ぎないのである。

三

乃ち、農村人に對する文化一般の建設は、これを農閑期に求めよといふ說もあるやうであるが、それでは永久に實現される可能性は乏しく、どうしても農繁期の時から實行して行かなければならないことを痛感する。さうでなくてさへ忙しい農村人に、これは一見重大な負荷に似てゐるが少くとも今日以後の農村人の使命は、單なる營農のことのほかに、大きくいつて農村文化の浸透といふことは、一つの大きな任務とさへなつて來たからで、いはゆる日本の不撓不屈なる農民魂を以つてすればそれ位のことの出來ぬ譯はないとさへ思料されるからである。

四

例へば國民學校の福導者らを利用する農村讀書施設についても、これは寧ろ兒童のためといふよりも、青年男女を對象としたものとして運用さるべきであり、從つてその書目の選擇、貸出しへの便法、閱覽者の流動性といふやうなことについても、農村指導者は特に留意する必要があるが、これには趣味あり理解ある國民學校の敎員が當るのも一つの方法であるに違ひない。既に單なる營農のみでは濟まなくなつた今日の農村であるからには、このことのために增產への知識も出來、また時局への認識も加はり、新體制的發足がなし遂げられるとすれば、大いなる時代的英斷を以て、生活文化への進軍を始めるのは、正に今日であることを知らねばならぬ。

包圍網八萬平方キロ
空前の大殲滅戰展開
獨軍、南北兩軍の連絡に成功
ドンバス戰線

【ブエノスアイレス特電】(十五日發)ドンバス戰線のドイツ軍は南はドンバス最大の要衝ウオシロフグラードに肉薄せんとしてをり、北はボロネジより東南進しホープル河に沿つて南下しつつあつたが、確實な情報によれば、ドイツ軍は遂にドンバス東方に於て南北兩軍の連絡に成功、ドン、ドネツ兩河を挾むクピヤンスク、ノボコペルスク、ウオシロフグラード及びカザンスクを結ぶ東西南北まさに八萬平方キロに及ぶ廣大地帶に一大包圍網を完成、目下空前の大殲滅戰を展開中と報ぜられてゐる

ドネツ河畔撤退　ソ聯確認

【ストックホルム特電】(十五日發)モスコー來電ドイツ軍はドン河岸要衝ボスチョ、カザンスクを一擧に拔き更に敗走するソ聯軍を急追カザンスク東南のミグロスカヤ郊外に殺到してゐるが、ソ聯軍當局は十四日ソ聯軍のドネツ河畔撤退を確認した

死鬪凄絕を極む

【ストックホルム特電】(十四日發)去る一日夏季大攻勢開始以來ドイツ軍は僅か二週間にしてドン河及びドネツ河の兩中流一帶を席卷し今やボルガ河西方の廣大な草原地帶ドン河下流地方に怒濤の進擊を續けてゐるが、ソ聯側においても斯の如き戰況は全く豫期し得なかつたこととて、作戰に一大齟齬を來し全線大混亂の兆が愈よ濃化するに至つた、ドイツ軍今次電擊作戰成功の原因につき、ソ聯軍事評論家は次の如く述べてゐる、ドイツ軍今夏作戰の成功は昨年同樣戰車及び空軍の優勢と機動戰の巧な運用によるものである、この機動作戰のため ソ聯の要塞線は全く無力化しソ聯軍は廣大な地域でドイツ戰車部隊に休む暇なく引つ張り廻されてゐる形である、空軍に關しては東部戰線のドイツ軍飛行機一萬台のうち三分の一が第一線機であるが特にメッサーシミット戰鬪機一〇九型及びユンカース型爆擊機八七―五二型の改良機がソ聯側飛行士の強敵と見られてゐる、又ドイツ空軍の活動は戰略的に著しく改善され占領地域に張り廻らされたラジオ網のおかげでドイツ軍は必要な基地へ直ちに五百機以上の空軍を即時集中出來かくて百%の機動性を發揮し猛威を揮つてゐるのである

【リスボン十四日同盟】ロイター通信、モスコーハロルド・キング特派員はボロネジ附近の激戰を次の如く報じてゐる、ドン河とボロネジとの中間の溪谷地帶は獨ソ兩軍の激戰によつて修羅の巷と化した、獨軍はボロネジ附近の渡河地點でドン河渡河に成功、ドン河の東岸に選跡すればクールスク方面からの獨戰車と快足步兵部隊も雪崩を打つてドン河東岸へ迫り、深さ八十キロ幅十六キロの地區の到るところに死鬪が繰返された、兩軍の間に壯烈な白兵戰が行はれるかと思へば、また たちまち雄大な戰車戰が展開された、ことに同市前面の村落では獨ソ兩軍の間に激戰が演ぜられ、獨軍突擊隊はあらゆる地物を利用して速射銃を打ちまくつた、かくて獨軍は頑强なる赤軍の抵抗を排し煙幕を利用し戰車と快速步兵部隊を以てボロネジ市內に突入したのである

赤軍機關紙『赤い星』の戰線報道もまたこの方面の激戰狀況につき次の如く報じてゐる、ボロネジ地區だけで獨軍戰車二個師團と步兵二個師團が戰鬪して居り、獨軍は赤軍塹壕陣地攻擊のため火焰放射器を使用してゐる、また他の一地區では獨軍はすでに三キロにわたつて野戰陣地を構築しドン河とボロネジ中間の狹隘な地區上空では間斷なく空中戰が展開してをりソ聯空軍は步兵隊の協力のもとにドン河渡河點を連續猛爆してゐる

獨軍ロストフへ十粁

【リスボン十四日同盟】ロイター通信ストックホルム電が十四日報ずるところによれば、獨機械化部隊はボクロフスク(ロストフ西方六十五キロ)を突破してロストフ西方約十キロの地點に迫つたといはれる

太平洋を壓するわが艦隊　牧島海軍報道班員撮影・海軍省許可濟第五七一號=電送

建國神廟御造營地
國都南郊淨月潭と御治定

【新京十五日同盟】一昨年七月御建廟あつてより第二回目の建國神廟元神祭の御儀は十五日朝よりいとも嚴肅に執り行はせられた、この日午前九時滿洲國皇帝陛下には帝宮內神域に御成り遊ばされ、親しく御告文を奏し給ひ

民生安堵を御祈願遊ばされ、さらに建國神廟御造營地を國都新京南郊の景勝たる淨月潭に御治定の旨を御奉告遊ばされた、ついで梅津關東軍司令官…、皇帝陛下には御機嫌麗しく還宮遊ばされた

國務院祭祀府布告

【新京十五日同盟】

小磯總督視察談
理想的な生產基地
農產增大に一段の努力望む
全南道民の奮起促す

【光州にて坂本特派員】十五日…

言ふまでもなく全南は朝鮮の西南にある理想的の生產基地として三百一無一質の穀倉の通り農產に恵まれてゐる所である、國民にとつて特にこの衣食住は大切なものだが我が國に於ては皇國の昔より神勅に御稻と穀物が示されてゐる、御稻は物を表はしたものであつてこれを見ても如何に精神が大切であり、一面物が大切であるかを知るべきで

二百六十萬

道民は重大な使命を達成する上に於て官民が聖戰必勝の自覺に燃えて農產增大に努力してもらひたい、かりにも國民としての務めを怠り供出はいやだなぞといふ考へをもつ者があれば互ひに矯正し勵まして邁進すべきである、その實例をとれば雨が降らぬ時の備へとして井戶を掘り貯水池を設けることも必要である、手を空しくして天水畓にばかり依存することは愚の極みである、全南の產業交通を發展させるために鐵道航路の强化も大切である、昨今の交通、運輸の上からしても內鮮連絡を充實すべきであるが、その先決問題としては先づ全南の產業をより以上に發達させ振興すべきであるまいか、又沿岸の交通力を更によくすることによつて多くの產物が出廻つて實質的に經濟力を進めなくてはならぬ

海上の輸送

と交通施設の問題も油と船腹によるだらうが長くはない、此處數年の後には解決される問題であるからそれまで道民は我慢して實力を養つておくべきである

小磯總督光州着

【光州にて坂本特派員】全南、慶南兩道…の小磯總督は大野秘書官、清水、松本陸軍武官…用田及び相川農林技師等を隨へ十五日午前八時十九分松汀里に安着、途中出迎への武永全南知事、阿部警察部長の先導により自動車で光州神社に參拜、記念植樹を行つて後、境內の一隅で小松府尹から市街地の概況を聽取、再び自動車で道廳へ向つた、同十時五分同廳到着、小憩の後官民の拜謁を行ひ、次いで武永知事より管內狀況を聽取、會議室に職員を招集して訓示を行つた後道廳で中食、午後一時から法院檢察局關係者を視察、更に自動車で長城、光山地方の農村を視察、二千七百萬石確保に熱意をみせ同五時光州『宿舍』に入つた

赤軍大損害を蒙つて退却

【リスボン十四日同盟】ロイター通信モスコー電によれば十四日ソ聯側報道はルジョフ西南方で獨ソ兩軍の間に激戰が行はれた旨次の如く發表した

ルジョフ西南方で獨軍は赤軍の側面を衝くとともに後方の交通連絡を遮斷しこれを包圍せんとしたが、赤軍は二日から十三日に至るまで無數の戰車を有する優勢なる獨軍と激戰を交へた、この戰鬪で赤軍は大損害を蒙り遂に防衛陣地を放棄して撤退するの餘儀無きに至つた、ソ聯軍は約七千の死傷者と行方不明五千名を出したが、その大部分は獨軍の後方で活躍してゐたゲリラ部隊である

墨の右翼カトリック示威大會

【ブエノスアイレス十四日同盟】メキシコ來電によれば、右翼カトリック團體として知られるシナルキスト全國聯盟は十三日示威大會を開催、會長マヌエル・トレス・ブエノスはカトリック的傳統を破壞するあらゆる外國勢力卽ち自由主義、共產主義を排斥しメキシコ人のメキシコに復歸せしむべきである旨を要求した

定期敍位

【東京電話】長き通りでは一條實孝公を從二位に敍せられたほか文武官華族一千二百六十七名に對し十五日定期敍位の御沙汰あらせられた、主なるもの左の如し

正三位　公爵　一條實孝

敍從二位

從三位　司法大臣　岩村通世

從三位　子爵　土井利光

敍正三位

清鄉地區でも使用禁止措置

【蘇州十五日同盟】清鄉地區內における舊法幣の回收は去る六月三十日の交換期間終了後も、さらに同地區の特殊性にかんがみ特別交換を行つて來たが、この特別交換も七月十四日をもつて遂に打切りいよいよ十五日より全面的使用禁止の措置がとられた、しかして同地區ではすでに一月前より儲備券の壓倒的攻勢によつて舊法幣は完全に打倒されてをり、今次の法的使用禁止措置によりここに舊法幣は最後の止めを刺されたわけである、かくて清鄉地區は今後儲備券の健全運用により飛躍的の可能性が期待されてゐる

牛島中將ら賜謁
九將星參內

【東京電話】赫々の武勳を樹てこの度歸還した牛島、本多政材、清水規矩、西村琢磨、服部曉太郎、坂口芳太郎各陸軍中將、遠藤三郎、秋山豐次、岩倉英門各陸軍少將は十五日午前十時參內、表御座所に於て天皇陛下に拜謁仰付けられ終つて牛島、本多、清水、西村各中將はさらに御內儀において皇后陛下に拜謁したが、畏き邊りでは各將星に對し南溜間において祝酒を賜ひ、清水、西村兩中將には御紋付木杯一組ならびに金一封を、服部、坂口兩中將、遠藤、秋山、岩倉三少將に對しては御紋付木杯一組をそれぞれ下賜せられ勞を犒はせられた

周佛海氏參內

【東京電話】十四日入京した中華民國國民政府財政部長周佛海氏は十五日午前十時半徐大使に同伴されて參內、鳳凰間において天皇陛下に謁見仰付けられ、畏くも陛下には御握手を賜つたが、周佛海氏は恭しく敬意を表し奉り恐懼宮中を退下した

新幣制維持强化
―一層の援助を切望―
周佛海氏記者團に語る

【東京電話】國民政府の財政および金融の發展につき日本當局と懇談並びに舊法幣交換のため來朝した國民政府財政部長周佛海氏は十五日午…帝國ホテルにおいて記者團と會見、訪日の使命ならびに今回の幣制改革につき大要左の如き談話を發表した

今回の訪日の目的は今度の幣制改革に…から與へられた多大の御援助に對し深甚の謝意を表するとともに今後における國府の財政および金融の健全な發展につき日本當局と懇談を遂げるにある、國民政府が今回斷行した幣制改革により舊法幣は總額十一億二千八百萬元を回收したが、この舊法幣の驅逐、中央儲備銀行券による幣制の確立、金融の安定、經濟の再建、民生の維持などいづれの點より見るも緊要であるが、一面重慶の和平地區に對する金融攪亂工作を完封した點にもつとも重要なる意義を有するのである、しかして今回の通貨統一により投資における日支金融合作の一大要件が見出されたこととなすべきである、すなはち舊法幣經濟のもとにおいては國民政府として金融上日本側と合作しこれに協力する途がなかつたが、今回の中央儲備銀行券による通貨統一が出來てはじめてこの金融合作が可能となつた次第であり、今後新幣制維持强化のためまた中支經濟安定のため日本朝野の一層の御援助を切望してやまぬ次第である

狀況に關し、十四日舊法幣整理委員會の發表によれば、回收總額は

回收十一億元
舊法幣の交換打切り

【上海十三日同盟】中支の舊法幣回收は去る六月八日より開始され三十日をもつて全面交換を締切つたが、右期間における舊法幣回收總額は十一億二千八百萬元に上り、これを地域別に見ると上海および南京地區では流通額の九割餘、その他の地區では概收六割內外と推算され成績は頗る良好である、回收舊法幣に對しては公債の交付も行はれ、また新券預金として儲備銀行に預け入れられたものもあつたので、全面交換實施中における儲備券の新券發行高は結局二億一千萬元の增加を示したに過ぎない

ネール、決意を語る

【リスボン十四日同盟】ロイター通信、ワルダ電によれば全印國民會議派運用委員會はイギリス政治力の印度よりの撤退を要求する旨の決議を行つたといはれる、しかして右決議の內容は印度よりイギリス軍隊を撤退せしめることを要求するものではなく完全なる政治的獨立を要求してゐるものである、十四日國民會議派領袖ネールと會見したロイター通信特派員はネールに對し『印度問題新解決の前提條件は何か』と質ねたのに對しネールは次の如く述べた

印度問題解決の鍵は印度獨立と印度民の憲法を制定すべき權限をイギリス政府が承認することである

北居南面

總力聯盟の機構改革をやる意思ありと田中政務總監は語つてゐる▲つまり現在の聯盟機構は國民組織として官製であり過ぎるといふ意味であり▲本府と表裏一體にあるべき聯盟は同じ表裏一體でも、實は全然同一のものであるといふ意味と解してよいと思ふが▲さういふ批判はこの間の聯盟家族會議でも可成り議論されてゐる▲卽ち官廳も聯盟も同一のものであれば確かに二重機構である▲總力運動の本質から考へれば別個の機構が併存しなければならない▲つまり現在の聯盟は政治の運營機關として出發してゐるに拘らず、實際の機能は官廳化してゐる嫌ひが多分にあることは事實である▲從つて機構改革の意思ありとすればその邊に重點が置かれねばならぬが、その重點をなすものは人的機構の改革である▲總力聯盟の役員が殆ど官吏であるといふことが第一聯盟の性格を曖昧ならしめる所以で▲特に田中總監も指摘してゐるやうに地方機構にその傾向が强い▲これは指導者が二重人格を有することを意味するが▲その二重人格をうまく使ひ分けられゝばよいが

＝人＝

◇中津川源吉氏(南鮮水力電氣常務取締役)新任挨拶のため十五日本社來訪

◇伊森府銀頭取　大田出張中のところ十四日歸任

總督府辭令(十四日附)

依願免本官　專賣局技師　山崎貞雄

京城版

城東署の耐暑武道鍛錬

城東署の耐暑武道鍛錬は總計卅餘名の猛者を集めて去る十三日から開始されてゐるが、これは同署が新設以來最初の武道稽古であり各署員間の未知數の實力は來る廿五日の納會で充分に發揮されることを豫想されてゐる

躍進京城〝七月の姿〟

水だけは絶對に節約して下さい

熱暑と鬪ふの辯　古市京城府尹談

着任以來府政百般に亙つて〝渋い〟ところをみせて地味と着實で府政運用に特異な手腕を示す古市京城府尹は去る十日の『臨時人口調査』以來十一日から三日間に亙る各町内の醫聯に千名の職員を動員して不眠不休の活動を續けたが、十五日記者團との定例會見で〝熱暑と鬪ふ〟の辯を譯り『猛暑の折から府民の皆さんは水だけは絶對に節約して下さい』と付足して躍進京城七月の溌剌たる姿を語つた【寫眞＝古市京城府尹】

飛躍的な躍進を續ける大京城の現勢を知るために『臨時人口調査』を施行したところ各町會、警察方面の絶大な御協力あり、府廳職員また酷暑と鬪ひ、過去十日間不眠不休の努力を續けた結果画期的な統計の仕事をよく克服し着々成績を擧げてゐることは眞に喜ばしく思つてゐる、元來正規の國勢調査であれば準備だけに半歳を要するのだが、これを十日間でやつて退けた譯で係員の努力には全く頭が下つた、三日間に亙る調査醫聯で申告も勝穩規正をみて豫想を越ゆることは先づなからうと思つてゐる

今日正午には鈴川司政局長が見えられて府廳の正午のサイレン鳴奏の状況と設備とを見て行かれました、私も正午の一分間鳴奏はちよつと長いと思つてゐる當局でも色々考究してをられるやうだから早晩〝三十秒鳴奏〟になるんぢやないかと思ふ

打續く暑熱に府内の水の使用量は激增の一途をたどつてゐるが、この際府民の皆さんに聲を大にしてお願ひしたいのは極力〝節水〟してほしいことです

新入生合格者

東丘家政實修女學校

桃源惠玉、金原良子、宮本麗子、平山久子、西村玉子、菅野國子、朴愛熙、富原定子、金原正子、門文順壬、松山榮九、武本季漢、松岡喜善、安田幸代、徳原淑子、國本惠順、茂谷重子、西原光子、新井英子、伊村榮子、尹村貞玉、豐川洋子、新井弘子、牛峰靜子、金姫泳、松村和美、金村淳、長田興江、平岡英淑、大邦蘭仁、宮本英姫、鎌川惠子、平山貞均、河本又榮、寧木菊興、佳山道賓、山本發順、岩城初松、岩本相愛、上原響億、金谷貞子、大城康子、達城豐子、張村仙鍋、牙山后愛、小林來熙、松本敏戊、東原松子、金本鎮月、吉田桂子、

幼い無産兒童の皇民教育へ挺身

賴もしい半島女性の佳話

さる十日府内大和塾に一人の半島女性が訪れ『折角教はつた知識を無駄にすることは出來ません、どうぞ妾を幼い兒童たちの國語教育のために働かせて下さい』と乙女の赤誠を文盲退治の決意に籠めて無報酬の奉仕生活を願ひ出たこの力強い女性の奮起に感激した同塾の金光主任が事情を聞いて見ると、今春明星女學校を卒業したばかりの中林町一四九の四一林和枝さん(二〇)で同女は裕福な家庭に惠まれた身であるにも拘らず女學校を卒業すると同時に〝女性も社會に出て御奉公せねばならぬ〟と両親を納得させた上國語を通じて幼い兒童たちの皇民教育へ挺身すべく申出たもので

同塾では教員不足のため困つてゐた折柄とて林さんの申出を直ちに快諾、林さんはその日から國語をはじめ裁縫、唱歌等の科目を受持つて可憐な無産兒童の皇民教育に乘り出し吾に感激の話題を提供してゐる

海の日に競漕大會

各府郡で一齊に開幕

さきに晴れの結成を見た道體育振興會では來る廿日の海の記念日を記念し、水を制する心身の錬鍛と舟艇操縦の普及發達をはかるため國民鍛成競漕大會を各府郡別に實施すべく大會要綱を作成中であつたがこのほど全部決定を見たので十五日各府尹郡守に通達、府郡體育振興會で十八、十九日の土曜、日曜の二日間に亙つて開催するやう指示した、大會には敵前上陸、敵船奪取、敵前揚陸、水難救助等大東亞戰爭下に相應しい競漕が織こまれて我國の次代を双肩に擔つて立つ海國青少年は負荷された重大要務の達成に一段の飛躍が展開される、場所は海濱、河川、湖沼等利用し得る各地方である、なほ大會實施要綱は左の通り

◇參加者　青年團(青年訓練所生徒も含む▲警防團▲産業團▲その他舟船を漕ぐ職業の者は除く

◇演技の種目及參加人員▲敵前上陸競漕(男子)三名(一組)▲敵船奪取競漕(男子)三名(一組)▲敵前揚陸競漕(男子)三名(一組)▲水難救助競漕(男子)三名(一組)▲二人漕貸ボート(男子)二名(一組)同上女子二名(一組)▲一人漕貸ボート(男子)一名▲同上(女子)一名(註)敵前揚陸及水難救助の二種目は朝鮮神宮奉讃體育大會種目の豫定

◇演技方法　使用船は和船一丁櫓或は二丁櫓とし各體育振興會において適宜同型のものを定めるものとす

◇敵前上陸競漕　距離は水上二〇〇米適宜廻航とし、出發點は縦隊に列び『號砲』にて同時に三名出發し決勝點に入る

◇敵船奪取競漕　距離は水上二〇〇米適宜回航とし、出發點に縦隊に列び『號砲』にて同時に三名出發し、自由型水泳にて折返點を廻りて繋留しある敵船を奪取し、三名の乘船を待つて再び折返點に廻りて決勝點に入る

◇敵前揚陸競漕　距離は水上二〇〇米適宜回航とし、出發點に縦隊に列び『號砲』にて三名出發し出發點と甲の中間に推積しある砂袋(一個二貫目)十個を舟に積み、折返點を廻りて一定の地に砂袋を推積して決勝點に入る

◇水難救助競漕　出發點に縦隊に列び『號砲』により三名同時に出發し決勝點救助船に乘船し折返點先二〇米適宜の丙なる點に溺者に擬す可き適當なる小旗付浮標一個を置き折返點より救助員たる一名は游泳により擬溺者浮標を救助し船迄運搬し來り擬後漕ぎ決勝點に入る

◇二人漕、一人漕貸ボート競漕、距離は水上二〇〇米適宜回漕又は直漕とし出發線に乘船して列び『號砲』により出發し所定の距離又は直漕するものとす、女子の部は適宜に距離を決定すること

彷へる可憐な少女

警官が引取つて世話

リヨーシンがあつたら屆けよ

貧しい警察官が親の名も知らぬ迷ひ子を育てゝゐる近頃の人情話―東大門署東小門派出所勤務巡査宮本守泰氏(三一)は去る三月中旬の午後三時頃同交番で立番中向ひ側のカトリツク禮拜堂の前を三歳位の女兒が迷ひ子になつて泣き歩いてゐるのを認め優しく呼び入れて冷へ切つた少女の身を温く勞りながら事情を聞いたが頑是ない幼兒のこととて父母の名さへ辨へず、これに當惑した同巡査は取り敢ず自宅から食物を取寄せて少女の空腹を醫す一方手を盡して兩親を探し求めたが敵のための捨子とみへて遂にその父母は名乘り出なかつた

一夜少女を自宅に泊めた巡査は意を決して夫人に暫くの保護を依賴したところ金順夫人(三二)も氣の毒な少女に同情して夫の申出に賛成して、それからは夫婦の間にこの捨てられた娘は幸福に育てられることゝなつた

その後五ケ月は過ぎたが遂々親の名乘り出はなく同巡査も日毎になついて行く可愛さに、此頃では全く眞の父のやうに慈しみ出したこのことは最近同僚の口から洩れて稻田署長を強く感激させる結果となつたが、同署長も部下にだけこの重荷を負擔させるわけにも行かぬと、その少女の救濟法について考慮を拂つてゐる

下情詳さに上通

役員百三十八名の家族會議

二十七日・道廳で開く

三百萬愛國班に代つて眞摯な民の聲を上通する十七年度道聯盟家族會議役員會は廿七日から道廳第一會議室で開かれる、高會長をはじめ各府郡から街と村の愛國班員の總意を代表して參集する參與理事評議參事は百卅八名で高知事と表裏一體となつて道政に翼賛せんとの愛國心を結集し、率直に熱心に地方の民情に關する意見を吐露、下情上通の眞面目を發揮する

協議事項は▲國語普及運動に關する件▲徴兵制度實施に關する件▲國民貯蓄獎勵運動に關する件▲婦人啓發指導に關する件▲堆肥並に堆肥增産運動に關する件

大會は國民儀禮について高會長の挨拶があつて〝征戰下地方民心の動向〟についての答申が行はれ午後一時から本府調査官石本清四郎氏の講演を聽き會議は午後五時終了の豫定である

『防諜寫眞』の入選者決定

きのふ授賞式

防諜寫眞入選者に對する賞品授與式は十五日午後七時から京城府民館で擧行、田中理事長から入選者にそれぞれ賞品を授與し、引續き懇談會を開いた、なほ推薦一、二席は左の通り【寫眞＝入選者】

◇第一部【防諜寫眞】▲推薦一席(知事賞)駒木根清彦▲同二席(理事長賞)五島義夫

◇第二部【自由】▲推薦一席(府尹賞)福田義則▲同二席(理事長賞)竹田安宏

訂正は今のうち

不正申告は斷乎處罰

人口調査の申告

米の不正購買は詐欺罪だといふ檢事局の見解發表に恐れをなしたか、去る十日から京城府が行つた人口調査の申告に對してはこの睨みが利いて相當の結果を現してゐる、殊に資富の差甚しい居住者を持つてゐる新堂町櫻ケ丘、舞鶴両方面では締切日の十三日が過ぎても後から後から申告書の書直しが續出して盛に訂正が行はれてゐるが、所轄城東署では受持區の派出所巡査を督勵して『今からでも遲くない』と不正申告書の書直しに大きな心を示してゐる、これについて同署有馬經濟主任は語る

『署長の御意見に從つて申告書の書直しは大目に見てゐる、實際は今になつて書直しをする心理は餘り感心したものではないが、不正申告をそのまゝに通すよりは增しだから默つて見てゐるのだ、それと同時にこの人口調査書が完成して私共の手に渡つた時不正申告が現れなどしたらもう許さぬ方針である、當署の管内は十萬も相當に居住してゐるので心配はしてゐたが今のところでは成績良好だ、なほこの上ともに充分注意して不正申告者が皆無であるやうに府へ協力する考へである』

訂正

十五日附京城版『體力檢査の申告受付を開始』の記事中受檢該當者大正十二年十二月二日とあるは大正十一年十二月二日の誤りにつき訂正す

◇……

小川治德氏長男

城東署外勤監督巡査部長小川治德氏長男淳君(四つ)は病ひのため十五日午前七時府民病院で死去、告別式は十六日午後一時同病院で行はれる

十字路

◇……地獄街道で名も高い東大門から昌信町までの路上にまた一つの恐怖が加はつた

◇……十三日の午後歸宅途中の某職業校生徒がいゝ氣持になつて電車の窓に寄りかゝつて居眠りをしてゐると〝ガン〟と太い柱がその頭に衝突した

◇……その太い柱とはつまり路線の傍らに立つてゐる電柱のことであつたのだが、その學生さんは氣の毒にもフラ〳〵になつて窓から首を外へ投げ出した途端〝アツ〟といふ間に第二番目の電柱が更に頭に接觸して完全に伸びてしまつた

◇――幸ひ生命に別状はなかつたが同じ例は前日もあつたので京電當局では、この珍事件に驚いて『窓から頭を出さないで下さい』と地獄街道通過の際は特に乘客の注意を促すことゝなつた

第五列の擊滅へ

鐘路署管内理髪業者が防諜團を結成

防諜週間第三日目の十五日鐘路署外事係では午前十時管内の理髪業組合員を同署訓示室に集め、同組合防諜團の結成式を行つた

國民儀禮ののち石川署長が團長役員を指名して規約を説明、團長金海春培、副團長洪基煥、幹事松本源助氏ほか六名を決定した

引續いて署長、靖野外事主任が防諜に對する訓示を行ひ誓詞朗讀、萬歳を奉唱して同十一時散會したなほ午後一時から管内和洋料理組合員並に女給さん九百餘名を鐘路二丁目中央基督教青年會講堂に集め京畿道から山下外事主任、鐘路署から石川署長、神林保安主任、靖野外事主任が參席して防〇懇談會を開いたが同二時半終了した【寫眞＝結成式】

管内の各集會を督勵

防諜週間第三日の城東署

防諜週間三日目の十五日城東署では朝倉外事主任が先頭に立つて管内の各集會を督勵し廻つたが、午前中は鍾紡京城工場の集會に同主任と有馬經濟主任が連立つて出席同主任が交々防諜、經濟両面から說いて鍾紡の工場職員に深い感銘を與へた

なほ十六日午前十時から再び金湖町商業實修校で同様講演會が開かれる

東大門署で講演會

消防組團での防諜講演に第二日を終つた東大門署では十五日引續き午前九時から仁義町專賣局工場で講演會を開催、當日は稻田署長自ら壇上に起つて國民防諜の構へについて懇切に指導して正午終つた

黄塵の街もこれで淸淨

大森さんの美擧

町内の衛生施設に缺陷する街の篤志家がある…元町四ノ三龍山材木店主大森勝夫さん(三〇)は附近一帶が京城でも有名な黄塵の街で、人も家もほこりで眞白くなつてしまふ有様だ、これでは住民の衛生上よろしくないと去る七月一日から自腹を切つて散水馬車一台を買込み人夫三名を雇つて終日散水し見違へるやうな淸潔な街にして住民は喜び通行人たちから感謝されてゐる

愛の赤道【155】

竹田敏彦(作)　鄭竹伸一(繪)

兄と妹(二)

兄と妹が、別々な惱みを包みながら、落着かぬ車中の一夜を明かして、やつと横濱驛へ下車した時には、漸く白みそめた夏冬の夜明けの寒さが、身内の底まで沁み入るやうな早朝だつた。

普通なら、そこらの宿にでも落着いて、温かい朝飯でも食べてから、といふところだが、儺吉達には、そんな贅澤な心の餘裕も、時間もなかつた。

『少し早いけれど、すぐに電車に乘つて、府立高等の驛前から、電話をかけてみよう』

儺吉は、寒さうに小國ひしてゐる千鶴子を顧みて言つた。

『えゝ、どちらでも結構ですわ』

千鶴子は、氷のやうに冷えたアスペルトの地下道を歩きながら答へのぼる、堪へがたい冷氣に、

『もし、こんな無理ばかりして、お胎の子供に、もしものことがあれば……』

ふと、こんなことを、考へた途端、

『いゝわ、どうならうと、こんな子供……』

急に湧きあがつてくる捨鉢な氣持の下から、

府立高等驛を降りた時には、それでも八時に近かつた。

『寒いから、一緒においで』

儺吉は、千鶴子を促して驛前の公衆電話のボックスに一緒に入ると、受話器を取上げて、交換手の聲を待つた。

『荏原の××××番……』

間もなく、大槻家の番號を告げて五錢玉を、落口から遷り出した。出たばかりの冬の朝の、茶色つぽい光線が、初めてボックスのガラス戸を光らせて、二人の上へ斜に射してきた。

『荏原の××××番出ました。五錢お入れください』

事務的な交換手の聲とともに、儺吉は手にした五錢を入れた。

『もし〳〵、大槻さんですか』

千鶴子は、傍で聞きながらも、急に立騒ぐ胸の動悸を、どう抑へることも出來なかつた。

『二郎さんいらつしやいませうか……私、名古屋の儺吉だと仰有つてくださ い』

儺吉は、いきり立つてすぐに、名乘つて出たが、取次の女の聲が、

『出發？何處へです―』

『あら、戰地へですわ』

『戰地へ！いつです？』

儺吉の聲が彈むとともに千鶴子もはツとして、儺吉の顏に眼を瞠つた。

『いゝえ、いけない、かりにもそんな可哀想なことを考へては……』

まだ見ぬ不幸な胎兒を憐れむ、烈しい愛着が突きあげてくるのだつた。

『さうだ、たとひ私が、この子のために、一生どんな不幸に陷らうと、私は、この子の母ではないか……』

湧き立つてくる不思議な愛情に千鶴子は初めて母の涙を浮べた。

東横電車で、横濱から府立高等までは、半時間ばかりの道のりだつた。

しかし、かうして千鶴子の胸に漸く目ざめかけた母性愛は、當て知らない力となつて、今まで兄の意思のまに〳〵、たゞ何となく任せてゐた彼女のあやふやな心持に、強い意力を加へてくるのだつた。

『この子だけは、仕合せな子にしなければ』

千鶴子は、話の成行がどう進まうが、これだけは、自分も身を以て、擁護しなければならないと思

ラヂオ　十六日

朝　六・三〇思想戰を戰ふ(終)野村重臣▲九・〇〇『姙産婦の保健』瀬木光雄▲九・三〇(城)國語會話の時間▲一〇・〇〇『セミトリ』小林つやえ他▲一一・〇〇劇『少年團だより』山本利一他

晝　〇・三〇室内樂、東亞室内樂團▲一・〇〇(大)戰時下婦人の活躍▲一・三〇朗讀夜明け前(一)和田放送員▲二・〇〇『戰爭と科學』(七月の卷)放送員▲二・三〇(城)朝鮮三海を往く(鮮語)崔南善

夜　六・〇〇お話と歌『羅生門』(お話)森雅之(音樂)弘田龍太郎▲六・三〇(城)輕演劇(鮮語)『目と耳と口』徐月影他▲七・三〇國民合唱われは海の子(指導)内田榮一▲八・〇〇軍事發表、放送劇▲九・〇〇(城)唱劇調(鮮語)李東伯他▲一〇・〇〇バタビヤより、ジヤバ作戰の九日間、富澤有爲男

京城日報　夕刊

進んで民情の視察へ

行政簡素化は八九月頃

聯盟の機構改革もやる

政務總監と定例初會見

記者團と初會見の田中政務總監

田中政務總監は十五日午前十時から總監應接室にて總督府出入記者團と第一回定例會見を行ひ行政の簡素化問題、これに伴ふ人事異動、聯盟機構改革問題その他各般の問題につき次の如き一問一答をなした

内地に順じて

問　行政の簡素化に就ては既に成案を得たと思ふがその方針如何

答　外地としては當然内地に順じて行はれる、中央の方針は徹に定員の減少のみでなく行政機構の簡素化の方針が含まれてゐるが、かくその方針が徹底される以前においても私は機構に根本的な檢討が必要であるとの意見を持ち前にもその點に觸れたことがある、幸ひに中央政府がそこまで行ふこととなつた以上忠實に眞面目にその意圖を承けてゆきたいと思ふ、然し朝鮮には特殊の事情があるからこの點を勘案して實行案を得たいと考へてゐる

問　具體化するのは何時ですか

答　朝鮮の特殊事情を中央に認めさすために折衝を必要とするから時期をはつきりいへないが八月下旬から九月上旬にかけてやらなければならぬ思ふ、これに絡んで人事異動が行はれると考へ得る

ちかく東上

問　近く諸問題折衝のため東上する意圖ありや

答　東上する、八月中旬に行きたいと思つてゐたが、來て見て問題の重點を攫み、對策を講ずる必要のものがあるので準備が出來次第大體八月下旬か九月上旬ごろに東上したいと思つてゐる

問　行政簡素化の各局の具體案は出揃つたと思ふが、それによつて考へられる所は

民意も勘案

答　少しでも修正改正を要するものと新たに施策を必要とするものは片つ端からどし／＼やつて行きたいと思ふ、着任以來の諸會議や民間から直接或は書面で意見をきき、狙ひをつけて來た民間の聲のアウトラインだけは得たので官意と、民間の聲を勘案して修正改正新施策をどし／＼やりたい

ブレイン組織

問　行政機構の簡素化に伴ひ企畫部の強化と總督ブレインの組織につき案は出來てゐるか

答　機構問題の内容についてはもう少し考へて見たいと思つてゐる、ブレインの對象としては企畫部が考へられてゐるがその組織をどうするかはこれからの問題である

問　ブレインに民間人を入れるか

答　考慮中である、民間人を多數入れるか、別途に意見をきくか二つの方法が考へられるが、常備的組織としてはブレインに民間人を入れるのは疑問だ、中央の方法が必ずしもよいといふことはないが中央でも内部組織の外に顧問會各小委員會などが併行してゐる

聯盟機構問題

問　朝鮮聯盟の機構改革の具體案は

答　まだ出來上つてゐないが之については中央から示されたものを基準としてまた從來自分が考へてゐたことなどを勘案してやつて行きたいと思ふ、總力運動そのものについては既に聯盟當事者からも又それ以外の民間からの意見も聽いてまづ實情だけはしつかり掴んだ積りである

部長級の増員

問　聯盟の名稱を變更するか

答　まだ何も考へてゐない

問　聯盟事務局に新たに專任部長級を増員する考へはないか

答　總力運動は實踐運動であり運動力を持つてゐるものでなければならん、だから中央より物を置かなければならぬと考へる、中央にはさう澤山人はいらないのでないかと思ふ

民情視察へ

問　民情を知るうへに單に部下から實情を聽取するのと直接民衆に接して體得するのと何れをとるか

答　自分は部下から實情を聽いただけでは十分だと思つてゐない、しかし直接自分は民衆の懐には飛び込んで行かないが自分と同じ考へを持つ者にそれをやらせるといふ方法もある、だが徒らに高きに上つて物をみるといふ考へ方では勿論いかんと思ふ、總督、總監が小さなことを根掘葉掘みて廻る必要はない、大綱だけを攫んで施策すればよいとか前例がないからやるなといふことではいけない、今世界は戰爭のため百八十度の轉回をみせてゐる、國民も同様に何んでも彼でも今までやつたことのない事をやらなければならんだから自分は非難があるとしても頓着なく進んで民情視察に飛びだす積りだ

問　國防ならびに經濟的見地より北鮮地帶を特別區域として取り上げることは考へられぬか

答　北鮮國境地帶の特別區域化の問題は考へられるが、まだ當面の議題として考へてはをらぬ

電力統制問題

問　電力統制は斷行せざるを得ない情勢にあるが

答　化學工業の進展に關聯し電力關係は相當重要問題であり至急解決を要するものであるが、いろ／＼準備があるやうだから大いに勉強したい、これは東上までに對策を要する一番大きな問題だと思つてゐる

内外地情報宣傳懇談會

廿七、八日兩日

内外地情報宣傳懇談會は廿七、八兩日總督府で開催されるが情報局からは、廿六日次の諸氏が來城する

第一部長陸軍大佐佐藤勝也、第一部第三課長海軍中佐濱谷則止、第一部第一課情報官林繁、同手島國記

廣田大使動靜

【バンコツク十五日同盟】十五日訪泰第六日を迎へる廣田大使以下使節團一行は午前七時バンコツク驛發特別列車で舊都アユチヤに向ひ、アユチヤ王朝の遺跡ならびに日本人街の遺跡を視察した

ビシー政府拒絶

ア港殘存の佛艦隊移動

【リスボン十四日同盟】ロイター通信ワシントン電によれば米國務次官ウエルズはアレキサンドリヤに殘存する佛艦隊處置問題に關し米大統領が二回にわたり行つた艦隊移動要請はビシー政府の拒否するところとなつた旨發表した、なほこれに關して消息筋ではアレキサンドリヤに獨軍が肉薄する場合には獨軍の手中に委ねることを防止するため英軍によつて擊沈せられるかまたは英軍により移動せしめられるのを防止するために自ら爆沈してしまふかのいづれかの方途により潰滅することとならうと見てゐる

要衝瑞安を完全占領

浙江全省日章旗下に慴伏す

【浙江戰線○○十五日同盟】浙江省南岸最後の要衝瑞安に肉薄攻擊を加へつゝあつたわが精鋭部隊は城外北方のクリーク地帶を突破して十三日夕刻瑞安城に突入北東部より逐次城内を掃蕩して同夜完全にこれを占領こゝに浙江省全域は全く日章旗の下に慴伏するに至つた敵暫編第三十三師の一部はわが電擊的猛攻に潰滅的打擊を蒙り算を亂して福建省境方面へ潰走しつゝある、なほ温州を攻略したわが主力部隊は引つゞき浙江河岸に戰果を擴大中である

瑞安縣城は温州南方約五十キロ飛雲江河口に臨む城市で温州との間に運河を通じ高さ二丈幅一丈餘り城壁をめぐらしこれによつて市街は城内城外の二區に分れ、人口約三萬主として縣内に産する茶、煙草、柑橘などを集散する、飛雲江は水深は深いが舟航はあまり盛んでなくたゞ漁船が多數群集して瑞安を中心に漁獲に從事してゐる

敵軍事施設を強襲

海鷲　友軍の進擊に協力

【浙江省○○十五日同盟】東支那海沿岸温州方面に活躍中の帝國海軍航空部隊は陸軍部隊と緊密なる協力のもとに着々戰果を擴大中であるが、海鷲の精鋭は五日以來陸上および水上部隊の進擊に呼應縱横の協力を行つた、すなはち

（五日）温州および樂淸方面の敵軍事施設四十二ケ所を強襲爆碎（七日）瑞安平陽の敵軍事施設二十七ケ所を空襲粉碎（九、十日）瑞安、平陽を猛襲軍事施設三十四ケ所に命中彈を浴びせた

一方水上艦艇は温州方面の水路啓開機雷の處分、要塞の攻擊などに活躍をつゞけ、陸戰隊の精鋭は陸軍部隊と協力して温州附近の甌江および瑞安附近の飛雲江諸要點に對し目下攻擊中

早くも“明朗浙江”へ

最後の密輸路潰滅　重慶の打擊深刻

【上海特電】（十四日發）わが精鋭の温州占領によつて香港、ビルマルートの潰滅以來最後に殘された敵の毛細管的輸送路もこゝに完全に潰滅し五月十五日皇軍行動開始後僅か一月足らずで浙贛全線の制壓成り、重慶政權の郷土であり唯一の海洋補給地、豐富なる農産物及び沿岸よりの密輸物資等の最後の補給地は完全に和平地區として皇恩に浴することゝなつた、しかして國民政府はこれに對し治安確立、民政改善を施政の根本方針として明示したので、早くも明朗浙江省の出現が期待されるに至つた

これに反し物資不足に喘ぐ重慶は密輸物資をはじめ一日も缺くことのできぬ海鹽を獲得する路を失ひ、農産物の收穫期を前に蔣介石も四苦八苦の有樣で、自力抗戰の絕叫も哀れな送葬曲化しつゝある

獨の新戰法に凱歌

機甲部隊の集團作戰

【チユーリツヒ十四日同盟】新作戰開始以來旬日餘にして獨軍は赤軍防禦線の心臟部ドン河一帶を席捲し去つたが當地のノイエ・チユーリツヒヤー・ツアイツング紙は獨軍新作戰の成功はいはゆる機甲集團戰法によるものであると左の如く報じてゐる

◇……今次攻勢における獨軍の赫々たる勝利はいはゆる機甲部隊の集團作戰によるものである、この獨軍の新攻擊戰術は從來の如き機械化部隊による電擊式進擊とは違つて各種の機械化部隊の大集團が廣汎な地帶にわたつて一齊進擊をなして目標地點に到達するものである、すなはち機甲部隊は方陣を作りその内部に裝甲車、歩兵、砲兵、防空砲および大量の食糧その他の補給品、附屬品、彈藥などを集結し一定期間中自給自足をなし得る一大軍團をなしてそれが機甲部隊とともに前進して行くのである

◇……フオン・ボツク元帥麾下の獨軍部隊は六月末オスコル河とドネツ河に沿つて攻擊を開始したが、これは最初舊式の正面攻擊の形を呈したがやうやく作戰の發展とその戰果によつて全然從來と異る戰法であることが判明した、裝甲攻擊に當つた部隊は敵の第一線突破と同時に後退しそれから機甲集團軍が前線へ現はれ決速力を有する巨大なるスチーム・ローラーの如く忽ちの間に五百キロを突破してドン河に到達した後方で敵の抵抗が激しい時はこの集團軍の中の裝甲車部隊が背後に殘つて敵の抵抗を擊滅してしまふのである

◇……ドン河に到達すると歩兵部隊が再び前進を開始し突擊隊となつて強行渡河を敢行し、渡河點を確保しその掩護下に工兵隊は携行せる材料で架橋を完成し決速に後方部隊の渡河を可能ならしめた新戰術は多數の戰車と自動車を必要とするから、この新作戰の展開に必要な資材は冬の間に十分用意されて東部戰線に配備されたものである、舊式の鋏み戰術に比べれば新戰法は必要に應じていつでも攻擊方向を變更することが出來この集團作戰は今次のドン河作戰で敵の反擊を排除するのに非常な效果をあげ獨軍當局はこの戰法によつて作戰軍の側面に對する脅威は完全に除去し得るとしてゐる

サラトフへ進擊

獨、ソ聯軍新陣地を突破

【チユーリツヒ特電】（十四日發）モスコー來電によればソ聯軍當局は十四日ボロネジ東方のドイツ軍がソ聯軍に對し強烈な攻勢を加へた後、遂にソ聯軍新陣地を突破、ボルガ河西方に廣大な楔を打込むに至つた旨確認した一方中立國筋情報によれば右ドイツ軍部隊は更に息つぐ暇もなく、ボルガ河畔の要衝サラトフ方面に向け怒濤の進擊を續けてゐる　その進擊目標がサラトフにあるか又は途中より九十度轉換してスターリングラード地區に向け南下するかは今のところ豫斷不可能であるが、何れにせよ今やドンバス地區を中心に危險中のチモシエンコ軍が包圍殲滅の運命を甘受するか又はサラトフ、スターリングラードより裏海沿岸のアストラハンを結ぶボルガ河中下流地帶に後退、こゝを最後の主要防衛陣に選ぶべきかの重要岐路におかれてゐるものとして注目される

赤軍抵抗不能

【ベルリン十四日同盟】南部戰線における獨軍は十四日の公表にもある通りハリコフ、クールスク方面から突破機械化歩兵部隊の猛烈よく續く戰車と機械化歩兵部隊よりなる獨軍精鋭部隊に對して赤軍は全然抵抗出來ぬ有樣である、各方面の情報にもとづき獨軍の戰鬪ぶりを綜合すれば次の通り

一、ハリコフから南下した獨機械化部隊はリシチヤンスクを突破しボロシーロフグラード方面に進擊中である

一、ハリコフより東進した部隊はグリヤンスク、ロソシについでドン河に沿ふボグチヤルを占領しボルガ河の要衝スターリングラード方面に進擊中である

一、ボロネジ占領部隊はあまり前進せず獨南下部隊の側面を衝かんとする赤軍に反擊を加へ專ら防禦に當つてゐる

ク、ハリコフ方面からボロネジ南方へ向つて大きな楔を打ち込むことに成功した獨軍は得意の鋸齒戰術を利用して楔の先端で赤軍の心臟部をぐい／＼と抉つてゐるがこの放膽、果敢な中央突破に腹を衝かれた赤軍は今や全く潰亂狀態に陷つてゐるといはれる、チモシエンコ軍の統帥部は戰死したと傳へ、その所屬部隊に對して有效適切な指揮を與へることが不可能になり、赤軍各部隊相互の連絡も殆ど杜絕狀態になつたゝめ總師部では味方の部隊がどの地點で如何なる戰爭を行つてゐるか全くわからないほどの急迫に瀕つてチモシエンコ軍が今や殆ど潰滅狀態に陷つてゐることは確實である

獨軍の前進狀況については獨軍當局は十日夕刻『戰線は現在すでにウクライナの黑土地帶からステツプ地帶にはいる地域にまで進んでゐる』と示唆的に説明を加へたが、この言葉から判斷すると獨軍はすでにドン河の支流ボルガ河を越えてボルガ河西方のステツプ地帶まで到達したのではないかと推察されてゐるそしてチモシエンコ軍が收拾のつかないほどの潰亂狀態に陷つてゐる以上、獨決速部隊が敗敵を蹴散らしてスターリングラードのボルガ河に到達するのもさう遠いことではないといふのが當地軍事專門家間の一致した觀測である

一大攻勢を展開す

モスコー戰線　獨軍攻擊を開始

【ストツクホルム特電】（十四日發）モスコー來電によればソ聯軍當局は十四日モスコー戰線のドイツ軍が突如として攻擊を開始し、殊にカリーニン、ルジエフ地區のソ聯軍が撤退を餘儀なくされた旨發表した……當局でもドネツ南部のスターリン國防委員長がチモシエンコ軍の潰滅の危機に狼狽、赤軍のスターリン精鋭部隊を南部戰線に急派したゞけに如何なる方法によつてモスコー防衛軍を增強すべきか苦慮してゐると傳へられる

捕虜七十萬餘

東部戰線　獨軍二ケ月間の戰果

【ベルリン十四日同盟】デーエヌベー通信が獨軍筋より得た情報として傳へるところによれば東部戰線において五月十四日より七月十四日までの二ケ月間に獨軍が得た赤軍捕虜は七十萬六千に達した、また同期間において獨軍が鹵獲乃至破壞した赤軍戰車は三千九百四十台、各種砲七千百門である

一寸まで言つて良い事惡い事

大演習を開始

ハワイ駐屯の米陸軍

【リスボン十四日同盟】ホノルル來電によればハワイ防衛司令官イモンズは十七日を期してハワイ駐屯米陸軍部隊の大演習を開始するに決した旨十三日發表した

中立再認か

土首相施政演説

【ベルリン十五日同盟】デーエヌベー通信イスタンブール電によれば、新任サラジヨグル・トルコ首相は八月四日開催の國民議會において施政方針演説を行ふことになつた、右演説はトルコの中立維持方針を再認するとともに同國の經濟問題にも觸れるものとみられ政界筋では非常な期待をかけてゐる

“破壞戰術”と

英、エジプトを威嚇

【ローマ十四日同盟】エジプト戰線では依然としてエル・アラメイン地區を中心に獨伊軍と英軍との間に激戰がつゞけられてゐるが、ロメル軍は數日前からイタリーよりの增援部隊の到着をまつていよ／＼積極的攻勢を開始した模樣で伊軍司令部ではロメル將軍はすでに如何なる事態にも對應し得るに足る十分な武器軍需品を入手し殊に伊空軍はロメル軍に協力してトブルク・マルサ・マトルー陷落後の沈默を破つてエジプト決戰に臨むしい活躍を見せることにならうといつてゐる、これに對し英軍は地中海沿岸からマルサ・マトルーへ……ゐるが容易に同意を與へないと見るやエジプトがその不參戰態度を變更しないならば英國はエジプトに對し破壞戰術をとるの態度なきに至らうと威嚇してゐるといはれる

スペイン國民議會召集

【ベルリン十四日同盟】マドリード來電によればフランコ總統は十七日のスペイン革命記念日に際し國民議會を召集する旨十四日發表した、席上フランコ總統は重大演説

米國のカナダ駐屯ならびにジエームス少將のバーミユダ諸島の總司令官任命はルーズベルトが英帝國の直面してゐる難局から最大限の利益を獲得せんと努めてゐることを裏書するものである、ルーズベルトの行動は英國の遺産の内から目星しいものを横取りせんとする政治的謀略である、過般英首相チヤーチルの米國訪問は米國をして英國からこの遺産を強奪せしめるに役立つた

米英の遺産を狙ふ

【ベルリン十三日同盟】DNB通信の報道によれば、米國政府はカナダ政府の合意のもとに今回米國軍隊をカナダに駐屯せしめ、今後も續けて派遣することになつた、さらに北大西洋の英領バーミユダ諸島の總司令官として米海軍少將ジエームスが米人として始めて任命された、右に關し獨外務當局は十三日次の如き見解を表明、英國の遺產を狙ふ米國の政治的謀略の現れたと痛いところをついた

……を行ふ豫定であるが、消息通は歸上ある種の法案發表があるものとみてをり十三日のユーピー電はスペイン、ポルトガル兩國は獨伊兩國の同意を得て近く君主聯合制（パーソナル・ユニヨン）を布くであらうと報じてゐるところから見て右演説は各方面の注目を引いてゐる

＝人＝

◇近藤重治氏（朝鮮無煙炭常務）十三日元山へ、十六日歸城

◇北野退造氏（油肥聯理事長）東上中の處廿日頃歸城

◇藤本準三氏（三興京城支店長）内地へ出張中廿三日歸城豫定

時の鐘音

官吏減員即ち行政の簡素化に對する國民の期待に迷惑に鑑いよとの首相の發言はよい。

×

單に人を減らすのではない、これによつて官界新體制を確立するのだ。國民の期待もこゝだ。

×

然るに各省別に天引減員の傾向なきや。これでは全く無意味に了らう。

×

行政機構の戰時重點主義の確定にあるのだ。

×

英ソの間に敗戰をめぐつての内輪揉めを生ず。人の褌のみ締みとする英國の醜怪をみよ。

×

この時印度では急進派がリードして獨立に猛進、泣き面に蜂だ。

×

鮮滿互讓の精神を發揮、電力協定成る、萬事これで行かう。

×

防諜週間だ。公私の生活、いづれも戰場だ、それで行け。

戰友よ眠れ
廿五部隊で慰靈祭

大東亞聖業の礎石となつて散華した皇軍勇士の英靈〇柱を迎へ朝鮮第二十五部隊では十五日午前九時から板垣軍司令官代理浦中佐を始め軍官民、特に部隊將兵多數參列のもとに同隊營庭で嚴肅な慰靈祭を執行した、英靈の冥福を祈るしめやかな讀經の後部隊長の英靈の武勲を讃へる弔詞に次で板垣軍司令官、小磯總督、京城師團長、高京畿道知事、古市京城府尹の弔辭があり讀經のうちに軍官民代表の燒香を終り同十時嚴肅裡に終了した、なほ英靈は同午後七時四十分京城驛發列車で故郷に向け無言の凱旋をする【寫眞＝慰靈祭】

"北"へ笑わし部隊
京城から二十日出發

大陸の戰野に酷暑嚴寒と戰ひつゝ勇戰奮闘する皇軍將兵を慰問するため銃後の赤誠をこめて軍人援護會京城府分會では昨秋中支に慰問隊を派遣したが引續き今年は北邊鐵護に當る在滿第一線部隊を慰問することとなり千田京城府總務部長を隊長に慰問隊を組織、來る二十日京城發慰問の途に出發するが一行は漫才、歌手、舞踊浪曲、漫談等の一流どこ八名よりなり炎暑と戰鬪しつゝ黙々と北邊の守りにつく國境部隊を一々慰問行脚し來る九月十日頃歸城の豫定

父よりも強く
軍國の遺兒ら鍛錬

わが父を聖戰に捧げた軍國譽れの遺兒達の心身を鍛錬し、次代を擔ふ立派な國民に養成しようと軍人援護會京城分會では中等、國民學校三年以上の遺兒を集めて生目湖の北鮮莊で集團錬成生活を行ふこととなつた
期間は八月一日より十日間で國民學校の先生、軍人援護會の職員が起居を共にし淸淨なる空氣と自然の懷に抱擁されて體力の錬成と勉學にいそしみ父に負けないやうな訓育を施すことになつてゐる

マレー、スマトラとも電報開始

朝鮮と帝國占領南方諸地域との間の電報はさきに『ジャバ』との間に一般電報の取扱ひを開始したがけふ十五日から更に東京昭南島の連絡により『マレー』及び『スマトラ』一円の地との間にも取扱ひを開始することとなつた
料金は和文私報五字まで二円四十錢以上五字まで毎に八十錢歐文私報三語以內三円、以上一語を增すごとに一円であつて『ジャバ』宛電報料金より幾分安くなつてゐる、なほ取扱制限に付ては『ジャバ』宛電報と同樣で私報は和文、歐文共日本語の普通語に限り私報の至急、照校、同文の特殊取扱も爲さない

聯合國喪失船舶三百六十隻

【ビシー十三日同盟】アベス通信

空襲警報が出たらラジオ放送は停止

國土防衞の完璧を期するためさきに鮮內各放送局の放送電波管制が實施されたが、この電波管制中に空襲警報が發令された場合は今後は左の要領でラジオ放送を停止することとなつた
一、鮮內陸上地區に空襲警報が發令された場合はその警報を放送し直ちにラジオ放送を停止する、空襲警報が海上に限られてゐるときは停止しない
二、鮮內陸上のある地區に空襲警報が發令された場合も放送を停止する、したがつて空上必要あるときは重要事項の放送があるから聽取者はスヰッチを切らずにいつでも聽取出來るやうにしておくことが肝要である、右について遞信局森川監理課長は語る
電波管制のためのラジオ聽取難を克服して當局の方針に協力せられつつあるのは感謝にたへない、當局でも目下聽取難を緩和するため鮮內十數ケ所に豆放送局の設置を計畫中であるが、本管制は當分續くものと考へなくてはならない、管制中に空襲警報が發令された場合は放送が停止されるから戰時下銃後國民として流言蜚語に惑はされぬやう注意してほしい

燈台めぐり (1)
森川特派員撮影　油山特派員記

海を行くものに微笑と慈愛をなげかけるやさしい"海の灯"——米英に代つて七つの海を制覇する日の丸船隊、"海の日本"のめざましい躍進のかげに限られた配給米を喰ひのばし老ぼれた燈台船の巡航を待ちわびながら僻海の孤島に或は人里遠く離れた海邊に電波と闘ひ一つの灯を命の灯と守り續ける燈台の生活がある、それはまた何と美しい素朴な生活であらう、大東亞戰下初めて迎へる海の記念日に先立ち本社では去る三日から十四日まで木浦沖の燈台七ケ所を慰問し、親しく潮風に濡れたわびしい燈台の生活記錄を得た、以下は海洋の偉大な姿の中に見出した現地報告である

マイナスと闘ふ
一分の隙もない生活

石垣を積みあげた灰色の街家の裏——欄干を取廻した二階の裏口だの、まんぢゆう屋根だの、薄汚いチマをまくりあげて物を洗つてゐる女だの、銹をしてゐる男だの、さうしたものが、一つになつて眩しい陽に照らされきら〳〵として目の前を通つて行つた、濃い繪具をごたごた塗つた畫面から受ける强烈な色彩感を私はうけた、不揃な、不規律な歪んだやうな古びた港町、その上はすぐむき出しのとげ〳〵した岩がころげ落ちさうな丘陵になつてゐた、潮風に吹き曝された松が高く低くなびき僞達山の上を白い雲がせはしく西に走つてゐた、燈台船光城丸は干潮に乘つてこの灰色の港町をあとに殘し島影を縫つて外海に入つた
入道のやうな奇巖が群青の大空を背景に亂立し切斷面のやうにそゝり立つた岬のうへに眞白い燈臺が永遠の表象のやうに海面を見下してゐた、斷岸絕立の孤島でも蔬菜は靑々と作られる、胡瓜、茄子、きやべつ、かぼちや、馬鈴薯等が岩間を這つてエスカレーターのやうに省に丹念に百姓も顏負けするほどもの見事に作られてある、島から街に賣出すほど毎日の收穫があるのだ
燈臺員も非番のときは、この畑の手入れを怠らない、島のものは獸れがちな燈臺職を唯一の潤りに除給のない配給米の喰ひのばしはこの上もない不安であつた、十マイナス十五の生活そこには常にマイナス五の生活が影のやうにつきまとつてゐた、この影を拂つて島の生活科學がひたむきに續けられてゐる、野草をとつては果汁を魚を釣つては蒲鉾をつくり鷄を飼ひ豚を飼ひ、兎を飼つては、肉をとり卵をとり、肥料をとつてそこには一分の隙も無駄もないのだ、島が遠く世を避けはないのだ、島が遠く世を避けて大海原に灯まもる人の默然たる孤影はそのまゝ繪であり詩でもある、されど現實の生活は空想の如き夢物語りであらうか【寫眞＝〇〇燈臺と野菜を作る燈臺守】

ネクタイはミヨシ

金剛山行きに三等寢臺車

金剛山行き旅客のため京城地方鐵道局では七月十八日から當分毎日京城、內金剛間三等寢台車を運轉の日曜、祝祭日の前日京城發に限り京城、內金剛間に三等寢台車を直通運轉することゝなつた
往路は京城發廿三時廿分外金剛着翌九時廿分內金剛着、翌十二時復路は內金剛發十八時、外金剛發廿時四十六分、京城着翌七時五分である

買出し一人で三箇
鷄卵に新しい配給法

牛肉と同じく公定價は改正になつたが出廻りの香しくない鷄卵を丸く出さうといふ新しい配給が近く京城で實施される、新しい方法は卵の配給を先づ一般用と特殊用の二つに分け一般用に對しては買出人一日當り一人三箇に限定買ふ場合は必ず店に備付けの帳簿に住所氏名を記入し、特殊用としては病院などが一日平均五百個見當、病弱者で醫者の證明書をもつ者又は老弱者で町總代、愛國班長の證明あるものに限り一人五個を渡すことになつてゐるが、販賣時間は特殊用を優先的に毎日午後一時まで一般は午後一時以後で京畿道では農會に鷄卵の入り次第早急に實施する

聯合國船舶

ワシントン來電米新聞の報道によれば、一九四一年十二月七日より一九四二年七月十二日に至る期間に米大西洋岸で撃沈された聯合國船舶は三百六十隻に上つてゐる

"罰金"をしやぶる

虫も殺さないやうな孃さんが大口を開けてアイスキャンデーにかぶりつく、ヒメ御前のアラレもないと、さう一概に眉をしかめてはいけない、この一本のアイスキャンデーがともすれば暑さにぼんやりする腦細胞の活動への一服の淸涼劑ともなり職域奉公に邁進出來るのなら"ヒメ御前のアイスキャンデーを食べる圖"もまた銃後眞摯敢闘風景の一齣に見えてくるではないか、この頃各職場で"暑い"といつたら罰金を取ることが流行つてゐる、これはむろん罰金を取ることが目的ではなく、"暑い"といふことを口に出したりなどするのは百數十度の炎熱下に挺身する兵隊さんに、相濟まぬといふ銃後奉公を誓ふことを意味してゐる、それでも水銀柱の上るのに比例して罰金は一日々々たまつてゆく、アイスキャンデーを食べる娘たちの風景も、この罰金のもたらしたこの頃の微笑ましい街の小ニュース—【寫眞＝アイスキャンデーにしやぶりつく娘さん達】

南方建設戰歿報道戰士慰靈
丁子屋の大東亞戰展

釋尊成道を日本に消化して大東亞戰爭の完遂に宗教報國の誠を致さうといふ目的の『大東亞戰完遂必勝宗教報國展』は盂蘭盆に香ぜる十五日から五日間京城南山本願寺主催、國民總力朝鮮聯盟後援の下に京城丁子屋四階催場および同畫廊で開催された
この開會に先だつて丁子屋では十五日午前八時半から第二會場に設けられた南方建設戰士病歿者、大東亞戰爭戰歿將士、同戰歿報道戰士らの三靈位を祀つた祭壇の前で小林社長以下各部長係長主任卅名が集つて懇ろな慰靈祭が行はれたが南山本願寺からは輪番代理として橋本了堅師が來場して讀經を行ひ同展開場前のひと時を宗教展らしく先づ法要の式で始めた【寫眞＝慰靈祭】

獨の兵力は五十ケ師團

【ストックホルム十三日同盟】當地に達した中立國側の報道によれば、チモシェンコ軍に對し集中された獨軍の兵力は步兵五十ケ師團、機械化十二ケ師團、第一線飛行機三千乃至四千機で、そのうち二乃至三の機甲師團と飛行機七百機はボロネヂ攻略のため振り向けられ、さらに南方クピヤンスクとドン河の中間には六乃至七軍團にフォン・クライスト將軍の戰車部隊が參加しその南方地區には更に八ケ軍團が戰鬪に參加してゐるものと信ぜられる

鍛錬健歩會

炎熱を征服する鍛錬のシーズンが來た——折角の祭日や日曜を喫茶店で過すのは、第一線將兵に申譯がないと京城府では戰時下百萬府民の體力を鍛へあげるため來る十九日の日曜日を利用して步け〳〵の夏季鍛錬健步會を擧行することゝなつた、目的地は鷺梁津電車終點から一里半を徒步して磯線の冠岳山に遊し、山麓の水墳にプールに體位錬成の樂しい一日を過すが當日は特に競泳、綱引等の余興山の行事を行ふ
なほ參加者は辨當、手拭、水着を携帶當日午前九時迄に鷺梁津電車終點に集合されたい

貿易港として復興
ペナン州活氣

【ペナン十四日同盟】檳榔嶼の島ペナンは皇軍占領以來七ケ月復興全く成り今や北部マレー物資の集散地として躍進を續けてゐる記者は全マレー擬定五ケ月の記念日を機にペナン州知事片山省太郎氏を訪れその抱負と經綸について左の如き一問一答を試みた
問　ペナン行政の根本方策如何
答　先づ第一に一日も早く貿易港として復興させたい、そして北部マレーにおける輸出および輸入の玄關として大いに利用したい、そのためにはすでに港灣計畫も出來上り棧橋や倉庫などは戰前以上に立派に完備してゐる船舶不足の折柄代用として先般來ジャンクの建造に對しては獎勵金の制度を設けるとともに出來る限りの援助を與へてゐる
問　原住民の働きぶりは
答　原住民は役に立たぬといふ說もあるが要は上手は使ひこなすかどうかの問題だ、彼等を薬縮せしめるか、充分に腕を揮はすか、これは上に立つ日本人の責任だ

これあればこそ

海鷲、戰果の陰に日夜の猛訓練

【〇〇基地にて井關海軍報道班員發同盟】世界の海上作戰を一變させるほど偉大な戰果をあげた海の荒鷲たちの精強さは最早多言を要しない、それは鍛錬の讃し得る範圍を遙に越えた素晴らしさなのだ、今や全太平洋海域から遠く印度洋をも壓して皇軍の海鷲はいよ〳〵光彩を放つてゐる

開戰以來マレーおよび蘭印の敵航空兵力の殲滅と海上を彷徨する敵艦船の撃滅に偉勳を樹てた海鷲はマレーおよび全蘭印の鎮定なつた今日この〇〇基地に待機し數日印度洋上に睨を張つて眾敵に嚮来に不斷の活躍をつづける一方、出動の合間には常に訓練を怠らず寸暇を惜んで猛訓練が實施されてゐる、記者は勇士たちの日課を見さに見、時には編隊飛行の同乘も許されて貴重な體驗を得『これだから強いのだ』との戰訓を今さらの如く深めた、以下勇士たちの猛訓練ぶりを紹介しよう

定着訓練

定着とは一定の個所へ着陸するといふことだ、これは基本訓練で容易のやうだが、實際は難しく殊に戰地の場合、敵の飛行場を分捕つて使用しなければならないので滑走路の長短、土地の凹凸に不平文句はつけられない、だから最も悪條件下に滑走路を假想して着陸地點を一定個所に指定し、滑走距離は何メートル以内と大體決めてかゝる訓練である、ここの基地は長くて、立派な滑走路があるがそのほんの一部分をくぎつて使用し離陸しては基地の周圍を大きく一周して定着、また飛び出すといふ工合に訓練が重ねられてゐる

編隊

編隊の攻撃は攻撃の際その戰果に影響するところが大きい、大編隊は別としてたとへ霧や雨に遮られても編隊は離してはならない、故にこの編隊を如何にして短時間にそして隊形よく整へるのも重要な訓練の一つである、まづ一機離陸する、そのあとへ一秒も間かず次から次へと飛び出す、一番機は基地を中心として大きな円を描くやうにすれば二番から三番へと次々に半徑を縮め一番機を追ひぴたりと翼をつけて鮮やかな編隊をくむ、一番機に乘つて離陸したなと思つて下を眺めてゐると間もなく機翼の左右すれぐに後續機が陸を眺べてなり基地の上空を一廻りもしないうちに編隊は實に大きなものとなつてしまふ、上空ではエンヂンの音がなければ左右の飛行機の操縦者と互ひに話が交はされる位の近さで顔を顰めたり笑つたりするのが手にとるやうに見える、これなら攻撃に行く時何時間乘つてゐても退屈しない、また編隊を解く合圖を交はすといつの間にか僚機の姿が見えなくなり一番機が着陸するとこれまた一定の距離と時間を保つて次から次とどん〳〵着陸し殆ど出來るだけ時間を短縮し攻撃隊形を速かに整へることについても努力がつゞけられてゐる

計器飛行

これは盲目飛行の訓練だ、ある一定の高度を保ちながら外部を見ないで地圖を見ながら羅針盤その他精密な機械だけで飛行機を操縦して目的地まで行くといふ作業である、離陸してから一定の高度になると窓を白い幕で張りつめ操縦者は前も横も一切見えない、しかも操縦者は飛行機の速力を頭に入れコンパスで地圖をはかりながら〇〇時間でも平氣で飛ぶ、霧の中、雲上飛行などの時この訓練が物をいつて悠々目的が達せられるわけだ

黎明、薄暮、夜間飛行

訓練は晝間と限つてゐない、日の出前の黎明にも飛び日沒あるひは夜間でも飛行訓練を積んでゐる、夜間訓練は難しい飛行場の周圍に僅かばかりの標識燈をつけ高い建物には、赤色燈で目印をつける、滑走路の両側にはある間隔を置いて石油燈を點しことさら暗夜を狙ひ發行が難しいところへ必死の訓練が行はれる、地上を離れ上空に出ると漆黒の闇で何も見えない、機内では色々の夜光機械器具が生物のやうに緑色に光る地上と機上とで信號を交しながら緊密に連絡を繰返してゐるこの危險な場所を避けて海上山間の種々の標的を設けて爆撃や雷撃の發着、機銃掃射、また爆撃編隊が敵戰鬪機と遭遇した場合の空中戰の訓練等が猛烈に實施されてゐるが、勇士たちは現在作戰中なの一生懸命だ、地上にある時は整備員らとゝもに相撲にあるひは野球などによつて體力の鍛成に餘念なく『あくまで戰ひ拔かう』といふ力強い氣魄が〇〇基地の隅から隅までに滲つてゐる

燃料不足に喘ぐ

南米諸國の戰時風景

【ブエノスアイレス十三日同盟】戰爭の進展につれ南米諸國は物心両面に多大の制約を受けるに至り殊に樞軸國潛水艦の活動によつて船舶輸送問題は極度の不安を醸成しつゝあり、燃料不足は今や各國にとつて緊急の重大問題化しつゝある、最近の南米の戰時風景もこの間の消息を物語つてゐるやうだ

ウルグワイ、モンテビデオではいよ〳〵今日から防空演習を開始したが、防衞當局は商業全般を通じ重大戰慄感を極度に盛込むため豫告なしの警報を發令すると述べた

ブラジルのガソリン不足は依然悩みの種でタクシーはお客一人では乘せてくれず多數の油槽船は樞軸國潛水艦に撃沈されブラジルの港に辿り着くのは僅か一、二隻に過ぎない現狀では自家用車の所有者へガソリンの増配などは思ひもよらず僅かに政府の高官、貨物自動車およびタクシーがその恩恵に浴するに過ぎない、これがため石油局長官はニューヨークまで出かけて問題の解決を圖り米國に對するブラジルの協力態勢を危殆に陥れないやう陳情してゐる有樣だ

現地軍の自給自足

（1）【廣東發】銃後に紹介は掛けまいと、現地における自給自足に大童の活躍を續ける〇〇部隊の努力は内地にはあまり傳へられたこともなからう、この人知れぬ努力も、だがすつかりなじんでからだを擦りよせて來る仔豚の背中のまるまるとした感觸の快さで何だか慰められるやうな氣がする

（2）鍬を持つ手に、水上げ機の柄を握つて、兵隊たちは乾田に水を注ぐ、何んだか斯うしてゐると内地の家に歸つたやうな氣がするな

（3）〇〇部隊水稻試作地、帶劍姿の肥桶擔ぎも、泥水に浸つて開墾なる水牛の耕作も、内地では一寸見られぬ風景

（4）こゝは廣東郊外の石炭採掘場、苦力も兵隊も、眞黒で見分けがつかぬ、現地軍の自給自足工作にかくの如く、あらゆる點に行き屆いた真摯な努力が拂はれてゐる

帝國藝術院

四會員決定

【東京電話】帝國藝術院では第三部（音樂）の新會員としてこのほど安藤幸子女史、今井慶太郎（邦樂）信時潔、山田耕筰の四氏を決定しこの旨文部省から發表された藝術院第三部は昭和十二年創設以來定員十名に達し幸田延（洋樂）梅多忠龍（雅樂）豐時義（雅樂）梅若萬三郎（能樂）寶生朝太郎（能樂）の五氏のみで殘りの五氏は缺員のまゝ今日に至つたもので今回の新會員推薦によつてこゝに藝術院員は全定員八十名に對し缺員三名を殘す陣容を整へるに至つた

徴兵制實施の

感激を映畫に

『徴兵に備ふ』製作

このやうな感激と光榮を全鮮に推し起した徴兵制實施の響びに應へ國民總力朝鮮聯盟、軍事普及協會が共同企畫で總督府、朝鮮軍司令部の絶大なる後援の下にこれを映畫化することになつた、本映畫は國家の干城として晴れのお召に出で立つ日に備へ、逞しき壯丁たるの鍛成と決意とを半島青年に注ぎ込まうといふのが製作意圖で作品の題名は『徴兵に備ふ』全二卷、内容は特に向後二ケ年間に亘る徴兵制實施期間中に適應するやう、皇民必見の價値を盛つて構成されるはずで、この腳本は既に總督府情報課映畫班内野晋氏が委囑を受け目下慎重執筆中であり、完成次第愈よ製作を開始する、朝鮮映畫製作會社が撮影に着手し、十月一日始政記念日を期して發表の豫定である

文化だより

◇多摩短歌會七月例會　十九日午後一時から三越三階社交室で開催、詠草一首十八日までに京城本町二ノ七六古城方多摩短歌會支部あて提附のこと

熱帯醫學の常識【2】

挾間文一

熱帯病にも効くサルバルサン

名稱共に熱帯病と稱すべきものに熱帯性苺腫（フランベジヤ）といふ病氣がある。本病の病原體はスピロヘータで、梅毒のスピロヘータとよく似てゐるので、形に於ては區別し難いが、梅毒と異り人體の深部に侵入する性質はない。たゞ表面の皮膚組織に居を構へるのみである。これは人から人へと接觸傳染するが、また蠅の如き昆虫によつて媒介される。初めは皮膚の感染部位に一個または數個の丘疹を生じ、後に水泡となり、これが破れて潰瘍を生ずる。この初期病所が去れば、全身症狀として全身に雀頭大、豌豆大、梅の實大の皮疹が出來、これが破れると痂皮を生ずる。これを取れば乳嘴が赤く露出して、苺の實の樣であるから、苺腫の名が生じた。第三期になれば梅毒と同樣ゴム腫を生じ、時としては皮膚の硬化が起る。治療は梅毒と同樣サルバルサン（六〇六號）を注射すれば、完全に治癒する。

熱帯病のうち治療の困難なのはフイラリヤ症である。本症は一種の絲虫によつて起る病氣で、不定の發熱、血尿、乳糜尿を發し、遂に下肢や陰部に象皮病を起す。主劑としてアンチモン劑を注射し、またこれにキニーネ・ピクリン酸加里の内服を併用する方法が最もよいが、母虫は仲々死滅しないので、全治は困難である。たゞ血尿、乳糜尿が輕快するのみである。本病は治療よりも、媒介體たる蚊を防ぐことの方が大切である。

現在の醫學の程度では、見る事の出來ぬ微細な病毒を、濾過性病毒と稱する。これに屬する熱帯病にデング熱、パパタシー熱、第四性病がある。デング熱はマラリヤと共に、普遍的な熱帯病で高熱を發し、關節、筋肉等の疼痛の激烈なもので、發疹を來し一旦平熱まで下つて再び高熱と發疹を繰返す。これは南洋に行けば誰でも一度はやる病氣で餘病を併發せぬ限り十日位で全治するが、免疫性を得ぬので幾回も罹る。熱帯縞蚊の種類の蚊が恐らく媒介者であるらしい。デング熱に似た病氣で、パパタシー熱といふのがある。砂蠅によつて咬刺され惹起される病である。突然として高熱を發し、二三日目に漸次下熱し二度目の高熱が起り、次で本當の解熱が起つてくる。發疹はデング熱の如く特有ではない。デング熱でもパパタシー熱でも蚊や蠅に咬刺されないやうにするより仕方がなく、對症療法で滿足せねばならぬ。

京日歌壇

吉井勇選

竹透　猪石胃塔

向うの山の頂上にある明舍の灯湖の面に映り雨蛙鳴く

獨り居の心易さよ裏庭に出づれば藤は咲き溢れ居り

城津　幸子

霧笛のしげき夜半なり職場の君を思へば堪へがてぬかも

さき遺きみいくさなりと書き添へて返しの文の封をしおへぬ

京城　鎌田多喜子

雨降ればうすら冷たき室内に女等默し衣を縫ひ居る

言はむとはすれど言ひ得ず涙のみ耐へきれずしてはふり落ちしが

同　浦上規一

さやさやと麥穂を渡る風ありて夕べの空に雲湧きあがる

同　宮田義立

蘭溜の咲くふるさとに友と來て遊びぼけしは去年の秋かも

同　石崎妙子

征く朝の夫の瞳は黒々と常にもましてかがやきてあり

同

【投稿】毎月廿日締切▲官製ハガキに一人一枚三首限り認め京城日報社學藝部『京日歌壇』あて▲住所氏名明記のこと

不連續線

日本語

皇軍戰げの進撃により、敵米軍が最後の牙城と呼號したジャバ島も呆氣なく消えて、早くも四ケ月にならうとし、バンドンも今は平和が立ち直り、皇軍の温い保護のもとに、蘭人や華僑や原住民が安心して、その日く、街の目貫きのところ〳〵に見る看板にも、日本語が使はれはじめたと現地からの便りは報じてゐるが、その送つて來た寫眞にも『店の鋼眼』と、堅に書いた看板がある。恐らくは『眼鏡の店』と横書きになつてゐたのを、右から順に縦書きに直したものらしく、こゝにも新生地區の一つの息吹きを感ずる。

三國志【854】

吉川英治（作）
矢野橋村（畫）

（赤壁の卷）

成都陷落（一）

馬超は弱い。決して强いばかりの人間ではなかつた。理に弱い。情にも弱い。

李恢はなほ說いた。

『玄德は、仁義にあつく、徳は四海に及び、賢を敬ひ、士をよく用ひる。かならず大成する人だ。かういふ公明な主をえらぶに、何でうしろ暗い憚りをもつことがある。第一、玄德に力を添へて曹操を討つは、大きくは四民萬衆のため、一身には、父母の仇を報ずる大孝ではないか』

唯々として、彼はもう李恢と轡をならべて、關中へ向つてゐた。

伴はれて、玄德に會つた。

この英氣ある青年の良心的な降伏に對して、閻の嘲ひやうな態ひをさせる玄德でもない。

『ともに大事をなし、他日の勳世を築かうではありませんか』

殆ど、上賓の禮をもつて、彼を遇した。

青年馬超の感激はいふまでもなかつた。恩を謝して堂を降るとき、

『いま初めて、雲霧を攘つて、眞の盟王を仰いだこゝちがする』

心からさういつた。

そこへ腹心の馬岱が、一箇の首級を携して來た。すなはち漢中軍の軍監楊柏の首だつた。

『以て、それがしの心證としてごらんください』

馬超はそれを玄德に献じた。

かうして、葭萌關の守備も、いまは憂もなかれたので、玄德は最初のとほり霍峻と孟達の二將にあとの守りをまかせて、その餘の軍勢すべてをひきゐ、ふたゝび綿竹の城へ歸つた。

綿竹へ着いた日も、こゝは合戰中で、蜀の劉晙、馬漢の二將が、さかんに攻めてゐた最中だつた。

にも關らず、留守してゐた黃忠や趙雲は、常と變らず出迎へに出たのみか、城中には、盛宴を張つて、

『おめでたう存じます』

と、玄德の凱旋に賀をのべた。

そのうちに趙雲が、

『ちよつと、中座いたします』

と、杯をおいて、城外へ出て行つたと思ふと、やがて敵將馬漢と劉晙の首をひツさげて來て、

『肴のおさかなに』

と披露した。

一堂の將はみな手をたゝいた。馬超もこの中にゐたので、

『あゝ、さすがに英傑がゐる』

と、ひそかに舌をまいて愕きもし、また、かういふ英雄たちの仲間に加はつた自分の生きがひも大きくした。

そこで、馬超は、玄德へ向つて、

『御奉公の手初めに、私と私の弟の馬岱と、ふたりして成都に赴き劉璋に會つて、張魯の野心を語り、また漢中の内情を告げ、劉皇叔の兵と戰ふことの愚なることをよく說いてみたら――と思ひますがどうでせうか』

と、進言した。

玄德は、孔明に諮れといふ。孔明は贊成した。そして教へた。

『もし劉璋が君の言に服さなかつたときは、かう〳〵し給へ』と。

それから十數日の後、馬超と馬岱は、蜀の府城、成都門の濠ぎはに駒をたてゝ、

『太守劉璋に、一言せん』

と、呼ばはつてゐた。

城樓の窓かに、劉璋が立つた。馬超は、聲を張つて、

『公は、漢中の援けを待つて、籠城してをられるのだらうが、百年お待ちになつても、張魯の援軍などは參りませんぞ』

と、冒頭して、

『たとひ、來たところで、それは蜀を救ひに來るのでなく、蜀を横奪に來るのです。漢中の内情と、張魯一族の野望とは、公がお考へになつてゐるやうなものではない。現に、この馬超すら、彼等にあいそをつかし、楊柏を討つて、劉玄德に從つたほどです』

と、その經緯を悉くはなした。

劉璋は、落膽のあまり、氣絶しかけた。侍臣にさゝへられて、櫓台の内へかくれた容か、馬超と馬岱にもみえた。

ふたりは、馬を回して、城外に陣し、劉璋の返答を待つてゐた。

城中では、主戰論、籠城派、また和平派など總つにもわかれて、二日二晩の評定に大論爭がもつれてゐた。しかし結局は、玉碎か降伏か、その二つを出なかつた。

新刊紹介

▲朝鮮公論（七月號）社說『日本文化を以て太平洋を彩色せよ』特輯『小磯新總督に望むもの』座談會『共榮圏と朝鮮經濟』其の他（五十錢、京城・本町五の一六、朝鮮公論社）▲文藝世紀（七月號、萩原朔太郎追悼號）▲政治（七月號）▲滿蒙（七月號）▲講演之友（百九十九號）▲歌道（七月號）▲農工之朝鮮（七月號）▲新時代（七月號）『支那事變と民政府』柳光烈、『東洋人と科學』沈亨弼、連載長篇小說『星は稔るに』李泰俊、『三國誌』朴泰遠、其他讀物が多い（五十錢、京城府本町二ノ八六、新時代社）

商業及法人登記公告

○財團法人京城救護會理事變更 理事矢野孫郎ハ昭和十七年六月貳日辭任シ同月參日左ノ者理事ニ就任ス 山本寶一郎 京城府西小門町壹武〇番地 昭和拾七年六月拾壹日登記 京城地方法院 龍山出張所

○株式會社設立 商號株式會社本店釜山府佐川町六八番地目的一、丸麥押麥ノ製造及加工販賣二、前各項ニ附帶スル事業存立時期會社成立ノ日ヨリ滿參拾年資本總額金拾八萬圓一株金額金五拾圓拂込株金總額金五千圓株式讓渡制限規定取締役會ノ承認ヲ要ス公告方法釜山日報ニ揭載ス取締役ノ氏名住所金子吉延釜山府大新町四八番地平山均釜山府佐川町六貳參番地日川寶一 ...（以下判讀困難）

上記通同府朝鮮仙町參番地ノ四代表取締役… ○朝鮮水産株式會社 ... ○東海食品合資會社 ... ○北鮮木材株式會社 ... 昭和拾七年六月壹日登記 咸興地方法院 端川出張所

共に半島の主張容認さる
中央も三條件を認む
＝有力なる發言權を留保＝
輕金屬統制會

輕金屬統制會への朝鮮側加入は既報の通り井坂商工課長の東上により決定を見るに至つたが、右決定に伴ひ總て朝鮮側の主張せる左の三條件が容認されることゝなつた

一、朝鮮支部を設置する件

二、支部長は常任理事級の人物にして朝鮮側の推薦するものたること

三、將來各種の統制その他の運營については豫め朝鮮と協議の上實施に移すこと

かくて中央においても輕金屬工業における朝鮮の優位性を認めると同時に、朝鮮側としても中央に對する有力なる發言權を留保し、機械的統制運用による危險性を防止し發展途上朝鮮斯業の一部の自主權を確保するものとして注目される

半島の加入決定す
綜合經營に支障を來さず
化學工業統制會

かねて中央の慫慂により折衝中にあつた化學工業統制會の朝鮮加入はこのほど加入決定をみた、即ち朝鮮化學工業の現狀は日窒を除いては統制會の對象となるべきもの少い關係から中央の慫慂も主として日窒を對象としてなされたものである

然しながら日窒はその企業種目が多種に亘りこれが綜合經營がなされてゐる關係よりして統制會の加入により日窒經營の基本をなす綜合經營の方針に支障を來すが如き狀態を招來するに非ずやとの點が大いに危惧され折衝も專ら綜合經營に支障を來さざる統制會の運營を要望する點に集中されてゐたものであるが今回、朝鮮側の要望が全面的に容認されたものである

水豐堰堤工事は九割强の進行振り
小林西松組取締役談

本邦堰堤工事界の權威者として知られる西松組取締役水豐事務所長小林光顯氏は十四日入城したが水豐ダムの工事進行狀況に關し次のごとく語つた

堰堤工事は、今年に入つてから好天に惠まれて豫想以上の進捗を示し、堰堤のコンクリート打込み總體積三百七萬立方メートルのうち僅々二十四、五萬立方米を餘すのみですでに九割强の進行歩合を示し、この調子では年内にはほとんど竣工する見込みである、たゞ堰堤のエプロンだけは次の結氷期間中に掘鑿工事をやり、明春からコンクリート打込みを開始し六月までに終る豫定で、これが出來れば名實ともに世界第二を誇る水豐ダムは完成するわけだ

この工事は 去る昭和十二年十月に工を起して正味五ケ年半、工事に從事した延人員は實に一千五百萬人に達し尊い犧牲者も出した、セメントの需要量は約七十萬トンといふ巨大なものであり、工材その他多數の重要資材を費してこの戰時下にあつてかゝる大難工事を完成し戰前敵國米の世界に誇示したボルダー・ダム、グランド・クリー・ダムなどに頡頏して水豐ダムの名を世界に迩つたことは大日本の大きな勝利であるといへよう

臺北市で南方經濟懇談會
半島から久保田氏が出席

南方の戰果擴大に伴ふ共榮圏内の積極的物資交流を要請されるに至つたので、東亞經濟懇談會では來月四、五、六の三日間臺北市公會堂に南方經濟懇談會を開き、南方資源との結合による積極的經濟開發および台灣農業の調整方策等について具體的檢討を行ふことになつたが、朝鮮側からは久保田鵬雄社長が出席、電力を中心とする共榮圏の經濟建設について專門的意見を開陳するはず

はこのほど締切つたが、共販高は大體廿四萬三千五百廿貫で前年に比し一割六分の減少を示してゐる、これを既往三ケ年間の實績に比すれば七割七分、さらに當初の目標では七割にしか達してゐな

一割六分減
江原本年春繭

藤山日商會頭今秋來城

東亞經濟懇談會朝鮮委員會では既報の如く今秋九月下旬京城において南方經濟懇談會を開き、半島の豐富なる電力、勞力、地上、地下の各資源と南方資源との結合による活用方策を中心に相互の積極的物資交流促進について討議することになつたが、右懇談會には本部から副會長、日商會頭藤山愛一郎氏が臨席することに内定をみた

物心兩面の緊密を
滿洲國經濟視察團、清津へ

【清津電話】十二日羅津における鮮滿經濟懇談會を終つた靑木滿洲國經濟部次長、小尾關東軍第四課長、倉原本府殖産局勅任事務官、大野咸北道知事一行三十餘名は十四日午後一時三十分關藤清津府尹川本商議會頭ら地元官民有志多數の出迎へを受けて海路清津に到着直ちに國際ホテルに入り午餐の後滿鐵施設、日鐵、三菱工場、水産加工工場などを視察、同夜は朱乙溫泉に一泊したが靑木經濟部次長は國際ホテルで左の如く物心兩面における鮮滿一如の具體化促進方について語つた

抽象論を急速に具體化させたい

鮮滿物資の交流とか、經濟聯繫の强化など當面の問題に直面して居ながらいつまでも抽象論ばかりで一向具體化してゐないやうだが、これを促進する意味において出かけて來た譯である、よく北鮮の現地を見せて貰ひ、また現地の意見を拜聽すると共に滿洲國の希望や意見を隣組の氣易さを以て交換し今後これが具體化に努力したいと考へてゐる

綜合水産加工々場の進出を考慮中だ

海のない滿洲國として北鮮の水産物に對しては大きな期待をかけ隨分依存してゐる、出來得れば羅津のあの立派な工場地帶を經營か或は投資するなりして一大綜合水産加工工場を進出せしめたいと思つてゐる、早速これが實現を期すべく勞力、資金、製法などについて專門家の調査を煩したいと思つてゐる

北鮮の窯業に期待 投資に就ても考慮

北鮮の持つ豐富な陶土を活かし内地の技術を取入れて窯業の企業化に馬力をかけるやうだが、滿洲國としてもこの北鮮窯業に多大の期待をかけてゐる、滿洲國でも製造してゐるが自給自足は無理だからこの點鮮内用と滿洲向と製産分野を分けて重複しないやうに考慮する必要があると思ふ、これが投資についても考へてゐる

なほ十五日は午後二時から清津商工會議所會議室において地元官民を交へ經濟懇談會が開かれる

第三回鮮滿連絡總會議に出席した古海總務部次長一行の北鮮視察行を聞いたが、自分が北鮮に

貯銀統制會の規程認可

【東京電話】貯蓄銀行統制會では かねて統制規程の認可申請中であつたが、十四日これが認可を見、十五日附官報をもつて告示、即日實施することとなつた、然して右統制規程は全國金融統制會に準じて制定されたものに次の三點よりなつてゐる

一、資金の吸收運用の計畫に關する件

一、資金の吸收に關する件

輕金屬統制會設立要綱決定

【東京電話】輕金屬統制會設立準備協議會では十四日午前十時より帝國輕金屬統制會館に第二回協議會を開催、統制會設立要綱を決定した

しかして統制會の設立に伴ひ、從來の輕金屬の生産配給統制を行つて來た帝國輕金屬および原材料の配給機關は改組の上統制會に加入し、同社役員は統制會の一部役員を兼任して兩者の連絡を緊密ならしめることとなつてゐる

王子製紙系の三社株式開放

【東京電話】王子製紙では過般の定時總會に同社の子會社たる日本人絹パルプ、樺太鑛業、山陽パルプ三社株式を同社株主に開放する旨明かにしたが、これが具體的方法に關しこの程重役會において左の如く決定した

一、開放株數三社とも五十円、拂込株式各四十萬株、合計百二十萬株を額面を以て交付する

一、交付方法は王子株七十五株に對し三社株式各五株宛計十五株の割當をもつてす

一、株主は來る九月一日現在によ る

中央無盡總會

朝鮮中央無盡では來る卅日午前十時から同社會議室において定時株主總會を開催、當期諸決算案ならびに利益處分案（配當八分据置）定款變更（社名變更）支店設置、監査役一名任期滿了につき改選の諸件を附議するが、支店を設置すべき地域は次の通りである

▲慶北（慶州、安東）▲江原（長箭）▲咸南（興南）

朝鮮無盡と社名を變更

朝鮮中央無盡の慶北無盡の吸收合併を最後に昭和七年末卅四社の多きを算してゐた鮮內無盡會社は去る四月をもつてすべて朝鮮中央無盡の傘下に集中され、ここに朝鮮無盡業務の一元統合が實現するに至つたので同社ではこの機會に社名を朝鮮無盡株式會社と變更、庶民金融機關としての使命完遂に邁進することになり來る卅日定時株主總會に附議可決することになつた

濱絹輸出組合解散

【橫濱電話】橫濱絹糸輸出業組合では十四日午後臨時總會を開催、橫神兩市場の同組合がその設立目的を終了、新に日本輸出組合設立せられ絹糸輸出統制ならびにこれに附隨する一切の事業は同組合において行ふことゝなつたので、從來の同業組合を解散する旨決議案を決定散會した

東京瓦斯八分据置

【東京電話】東京瓦斯では十四日本社に決算重役會を開き當期利益金處分案（配當年八分据置）を査定、來る廿九日の定時株主總會に附議する

廿二日に大株後場休會

【大阪電話】大株では來

現株仲値 (十五日午前十一時調)

第十一回 七段陣對五六段陣 對抗大棋戰

本社特選 廿四棋士勝繼 優勝決戰 第五回

黒幾分打過ぎ

評解 八段 加藤信

商業登記公告